



地域活性化へまちづくり積極的に積極参画

富山建協

富山県建設業協会は10日、富山市で経営改革セミナーを

開いた。「成長拡大型未来像から持続型未来像への転換」をテーマに、東京電力技術開発研究所の青木仁主席研究員が講演した。

冒頭、主催者を代表して富山建協の林和夫経営改革推進委員長が「未曾有の混迷期にあるが、請負を生業としてきた建設業は今、あり方を根本的に考えるべき時期にきている。地域の活性化に、まちづくりに積極的に参画していく必要があるのではないか」と問題提起した。

セミナーでは日本型まちづくりを提唱している青木氏が、社会環境の変化やパラダイム転換の現状と先行きを展望した上で、建設業がまちづくりに参画していく可能性を説明した。協会関係者の関与者など約50人が受講した。